



2027年3月期 第1四半期 決算補足説明資料

第27期（2026年4月1日～2026年6月30日）

2026年8月14日

株式会社アイフリークモバイル

証券コード：3845（東証スタンダード）





2027年 3 月期 第1四半期 決算概要

★ 2027年3月期 第1四半期 総括

伝わる
つながる
広がる

業績

■ 売上高 **427**百万円 ■ 営業利益 **1**百万円

DX事業

部門間シナジーの最大化と収益性の向上を図るため、当第1四半期会計期間よりコンテンツ事業を統合し、「DX事業」の単一セグメントへ移行。

ITエンジニア派遣・受託開発では、システム開発・保守需要が堅調に推移した一方、期初の稼働率低下と待機人員の増加が売上高・収益性に影響。配置転換、契約単価の改善、商流の見直しを進めるとともに営業活動を強化。

成長領域と位置付ける生成AI分野では、AI関連案件への参画と、資格取得支援・社内研修を通じた専門人材の育成を推進。また、生成AI技術と当社が保有する絵本・IPコンテンツを活用した法人向けサービスの提案活動を推進。

2027年3月期売上計画に対する進捗



売上高は通期計画に対して順調に推移。

★ 2027年3月期 第1四半期 P/L ハイライト

伝わる
つながる
広がる

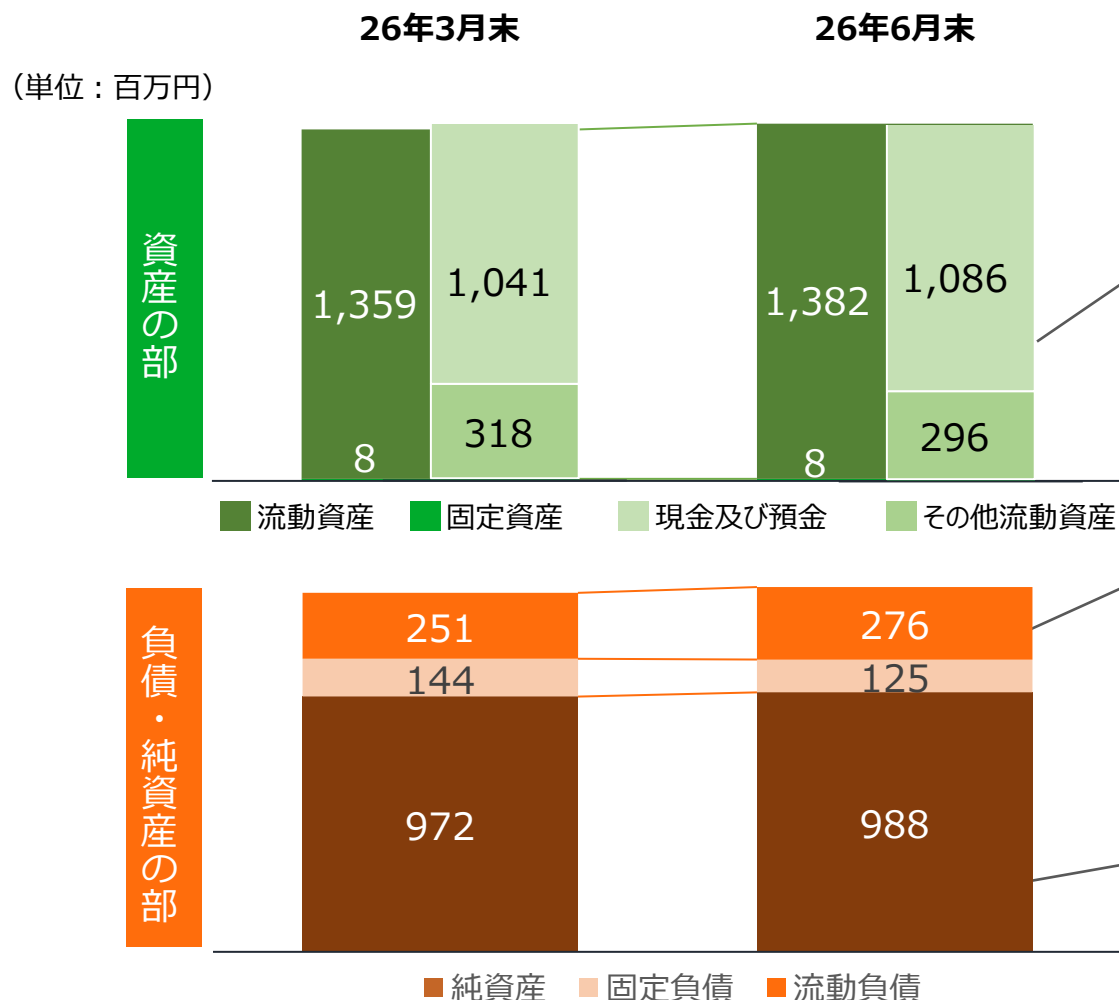
(単位：百万円)

	2027年3月期 1Q実績	2026年3月期 1Q実績	前年同期比較	
			増減額	増減率
売上高	427	491	△64	△12.9%
売上総利益	99	124	△25	△20.4%
販売費及び一般管理費	98	116	△18	△16.0%
営業損益	1	7	△6	△85.7%
経常損益	0	7	△7	△89.5%
四半期純損益	15	7	8	101.2%

★ 2027年3月期 第1四半期 B/Sの状況

伝わる
つながる
広がる

B/S 2026年3月期末比較



【主な増減要因】

【流動資産】

現金及び預金：44百万円増加
前払費用：6百万円増加
未収消費税等：8百万円減少
売掛金：7百万円減少

【流動負債】

未払消費税等：22百万円増加
未払費用：3百万円増加
前受収益：3百万円減少

【固定負債】

長期借入金：18百万円減少

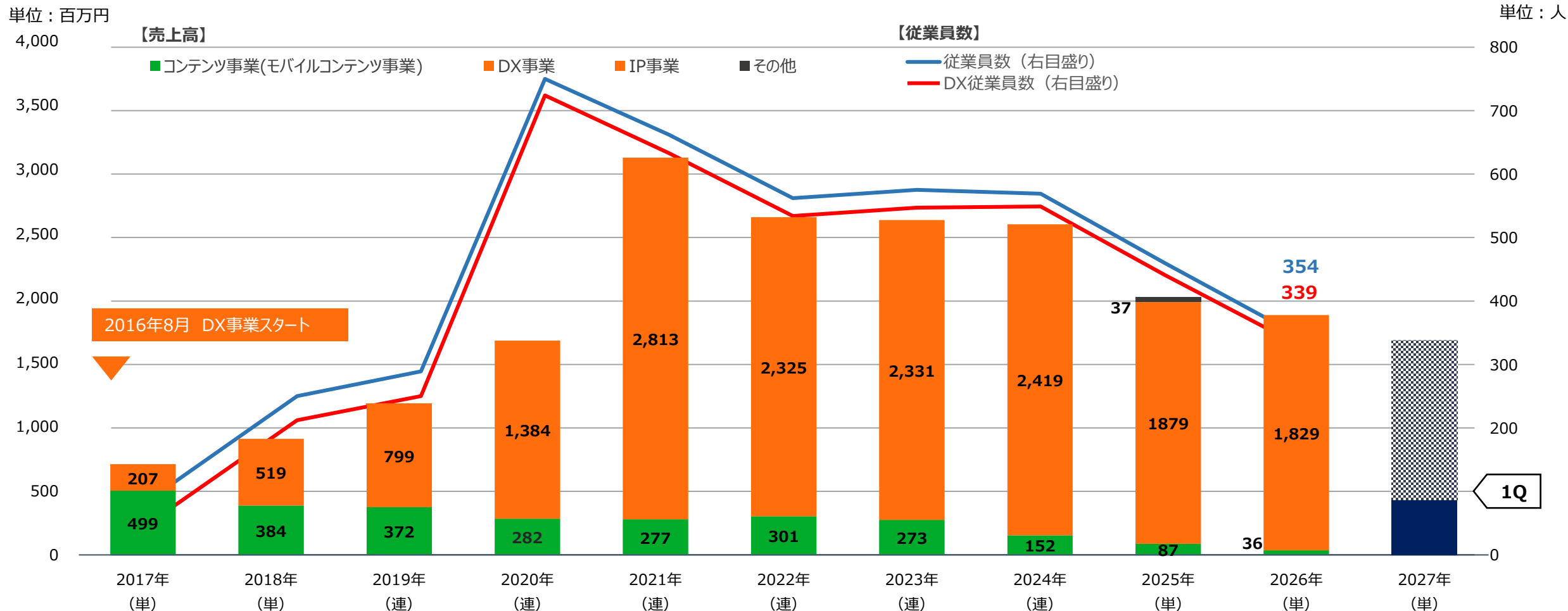
【純資産】

四半期純利益：15百万円計上

業績と従業員の推移

伝わる
つながる
広がる

売上高・従業員数推移（DX事業スタート～）



★ Topic:新たな経営体制への移行について

伝わる
つながる
広がる

これまで培ってきた当社の強みを活かしつつ、組織の意思決定を迅速化し、日々変化する市場環境へのさらなる対応力強化を図る。

役職名	氏名	担当
代表取締役社長	吉田 邦臣	事業部門担当
取締役	五十嵐 雅人	管理部門担当
取締役	辛 澤	—
社外取締役	幹 亜幸	—
常勤社外監査役	三浦 璃久	—
社外監査役	大澤 梅嘉	—
社外監査役	小川 恵司	—



2027年3月期 事業計画

DX事業

生成AI、データサイエンス、クラウドコンピューティング等、専門領域に特化したエンジニアの育成を進めながら、商流改善を行い、高単価案件を獲得

コンテンツ制作、IP活用、アプリ開発、生成AI実装を組み合わせたサービス提供の体制構築

★ 2027年3月期 業績計画

伝わる
つながる
広がる

	2027年3月期			2026年3月期 実績
	計画	増減額	増減率	
売上高	1,670	△195	△10.5%	1,865
営業利益	△11	△40	－	29
経常利益	△13	△45	－	32
当期純利益	1	△42	△97.7%	43
1株当たり配当金	0円00銭 (※)	－	－	0円00銭

(※) 当社の財務状況等を総合的に勘案し無配とさせて頂く予定ではありますが、安定的な収益体質の確立により、早期の復配を目指してまいります。

(単位：百万円)

システムエンジニアリングサービスを基盤に コンテンツソリューションの収益化により永続的成長を実現



※2026年3月期売上

本資料は、今後の経営ビジョンに関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。本資料は注記のない限り2026年6月30日現在の決算データ及び直近の事業データに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測などは、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

なお、本資料を無断で複写複製、または転送等を行わないようお願いいたします。